

令和5年度の主な事務事業の評価結果一覧(上下水道局)

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の 達成度	参考資料 掲載頁
						予算額	決算額 (見込)		
1	10301010	主要施設の更新・耐震化事業	施設の 管理・運 営	配水池・配水塔など主要な水道施設の耐震化や災害時の水道水の確保を目的とした緊急遮断弁の整備等を進めます。	●長沢浄水場排水処理施設の更新・耐震化の推進 ●千代ヶ丘配水塔2号塔の耐震化及び緊急遮断弁の整備の推進は、工事の遅延により、配水池・配水塔の耐震化率の目標を下回ったが、令和6年度中の完成を目指し、取組を推進(配水池・配水塔の耐震化率 目標:100.0% 実績:99.1%)(災害時の確保水量 目標:16.5万m3以上 実績:16.5万m3)	3,478,685	3,802,666	4	P2
2	10301020	送・配水管の更新・耐震化事業	施設の 管理・運 営	老朽化した送・配水管や重要な管路の計画的な更新・耐震化を実施するほか、事故等に備えた管路の整備を実施します。また、応急給水拠点の整備や利便性向上の取組を進めます。	●老朽化した送水管・配水管の計画的な更新の推進 ●重要な管路のうち重要施設への供給ルートへの耐震化完了 ●新たな重要な管路の耐震化の推進 ●更新時期を迎えた配水管の計画的な更新・耐震化の推進 ●開設不要型応急給水拠点の整備(市立小中学校等への開設不要型応急給水拠点整備 目標:25校 実績:24校) ●応急給水拠点の利便性の向上の検討 ●重要な管路の耐震化率は、老朽配水管の更新について関係機関等との調整に時間を要したこと等から目標を下回り、また開設不要型応急給水拠点の整備率は、関連工事の遅延により、目標を下回ったが、管路の耐震化率、消防署・警察署等の重要施設への供給ルートへの耐震化完了率は目標を上回り、全体としては、概ね順調に推移(重要な管路の耐震化率 目標:100.0% 実績:98.2% 管路の耐震化率 目標:41.7% 実績:42.7% 開設不要型応急給水拠点の整備率 目標:100.0% 実績:98.9% 消防署・警察署等の重要施設への供給ルートへの耐震化完了率 目標:22.2% 実績:22.2%)	10,881,467	10,678,098	3	P4
3	10301030	給水管の更新事業	施設の 管理・運 営	漏水の主な原因となっている老朽給水管を更新するとともに、輻輳する老朽給水管の解消を進めます。	●老朽給水管の更新の推進 ●配水管の新設による輻輳する老朽給水管の解消(輻輳老朽給水管対策管路整備延長 目標:3.0km 実績:3.0km)	2,159,893	1,999,539	3	P7
4	10301040	水道水質の管理業務	その他	良質で安全な水道水をご家庭に届けるため、水源から給水栓までの徹底した水質管理や塩素臭の少ないおいしい水の供給に向けた取組を進めます。	●「水安全計画」による水源から給水栓までの総合的な水質管理(水道水質基準の適合率 目標:100% 実績:100%) ●「水質検査計画」に基づいた水質検査の実施と情報提供 ●残留塩素の適切な管理(平均残留塩素濃度 目標:0.3~0.5mg/L 実績:0.46mg/L)	121,825	103,884	3	P9
5	10301050	工業用水道施設の整備事業	施設の 管理・運 営	浄水場など主要な工業用水道施設の耐震化・浸水対策を実施するとともに、将来の需要動向を踏まえ、施設・管路の更新に向けた検討を進めます。	●老朽化した管路の更新の推進は、工水3号配水支管、工水6号配水支管の更新は完了したが、工水1号配水支管の更新において、工事の遅延により、目標を下回り、令和7年度中の完成を目指し、取組を推進(工業用水道管路の更新延長 目標:2.5km 実績:1.6km) ●断水リスク低減等を目的とした送水管の二重化・ネットワーク化の推進 ●需要動向を踏まえた工業用水道施設・管路の将来構想の検討 ●工業用水道施設の耐震化及び浸水対策の推進は、稲田取水所、工水管3号さく井、工水6号さく井の浸水対策工事が完了(施設の防水壁等整備 目標:3施設 実績:3施設)	2,469,738	1,649,755	4	P11

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の 達成度	参考資料 掲載頁
						予算額	決算額 (見込)		
6	10302010	下水道の管きょ・施設の地震対策事業	施設の 管理・運営	避難所や重要な医療機関等と水処理センターとを結ぶ下水管きょなどの重要な下水管きょや水処理センター・ポンプ場の耐震化などを推進します。	●重要な管きょの耐震化の推進については、川崎駅以北の約4.7kmを実施し、これまでに、約19.0kmの耐震化が完了。(重要な管きょの耐震化率(市内全域) 目標:88.4% 実績:88.4%)、(重要な管きょの耐震化率(川崎駅以北の地域) 目標:19.0% 実績:19.0%)、(避難所や重要な医療機関と水処理センターとを結ぶ重要な管きょの耐震化率 目標:77.6% 実績:77.6%) ●水処理センター、ポンプ場の耐震化の推進については、汚水揚水機能の確保に向けた取組として、大師河原ポンプ場において工事が完了。また、消毒機能確保に向けた取組として、入江崎水処理センターにおいて工事を推進。 ●汚泥圧送管の地震対策の推進については、麻生水処理センターから等々力水処理センターまでの約1.4kmを実施し、これまでに、約16.5kmの耐震化が完了。	4,712,346	5,091,635	3	P19
7	10302020	浸水対策事業	施設の 管理・運営	浸水リスクの高い重点化地区において、既存施設の更なる活用等の浸水対策を推進するほか、令和元年東日本台風による浸水被害を踏まえた対策などを推進します。また、外水氾濫等の発生時における下水道施設の機能確保に向けた対策を推進します。	●重点化地区における雨水管きょなどの整備の推進については、三沢川地区、土橋地区、京町・渡田地区において浸水対策工事を推進し、京町・渡田地区の先行整備地区(小田3丁目地内)の工事が完了。また、京町・渡田地区、大島地区、観音川地区において、互いに隣接する地区であることから、地区を跨る雨水貯留管としての機能も有する入江崎統合幹線による一体的な対策の実施に向けた検討及び関係部局との協議を実施。川崎駅東口周辺地区において、新たな雨水対策施設等の整備による効果的な対策の検討を実施。(浸水対策実施率(三沢川、土橋、京町・渡田、川崎駅東口周辺、大島、観音川地区) 目標:32.1% 実績:32.1%) ●局地的な浸水箇所における対策の推進については、山王排水樋管周辺地域においてバイパス管の工事が完了。ポンプゲート設備による中期対策の推進に向け、河川管理者との協議を推進。(排水樋管周辺地域の浸水対策累計実施数(令和元年東日本台風当日の床上浸水面積に対する解消率(想定) 目標:7対策(65.2%) 実績:7対策(65.2%)) ●下水道施設の浸水対策(耐水化)の推進については、江川ポンプ場及び戸手ポンプ場において耐水化の工事が完了。(水処理センター・ポンプ場の耐水化率 目標:58.3% 実績:58.3%)	1,156,170	1,434,341	3	P21
8	10302030	高度処理事業	施設の 管理・運営	これまでの下水処理に加え、赤潮などの原因となる窒素やリンの排出量を削減できるよう、水処理センターの高度処理化を推進します。	●水処理センターの施設整備による更なる高度処理化の推進については、等々力水処理センターにおいて、更なる高度処理化に向けた脱窒ろ過池などの工事を進めているところですが、大規模かつ複雑な構造なことから、仮設計画に変更が生じ、工事に遅れが発生しているため、目標を下回った。工事の完成に向けて、工程管理の徹底に努める。また、当該事業の遅れによる関連事業への影響が無いよう、関係機関との協議調整を進める。(高度処理普及率 目標:59.3% 実績:59.3%) ●既存施設の一部改造や運転管理の工夫による段階的の高度処理の導入に向けた取組の推進については、入江崎水処理センター(東系)において、既存施設を活用した運転管理の工夫による段階的の高度処理の導入に向けた調査研究を推進。	3,366,942	4,294,953	4	P23
9	10302040	合流式下水道の改善事業	施設の 管理・運営	合流式下水道による公共用水域の水質汚濁を防止するため、貯留管の整備や遮集幹線の能力増強に向けた整備などを推進します。	●合流式下水道の改善の推進については、大師河原ポンプ場の汚水沈砂池の改築は完了。六郷遮集幹線の整備については、想定外の地中埋設物の調査および撤去作業等に時間を要した結果、令和5年度の完成が達成できなかったため、目標を下回った。六郷遮集幹線の整備の早期の達成に向け、関係機関との協議調整を円滑に図りながら整備を推進。(合流式下水道改善率 目標:100% 実績:73.5%)	2,405,939	3,033,600	4	P25

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の達成度	参考資料 掲載頁
						予算額	決算額 (見込)		
10	10302050	下水道の管きょ・施設の 老朽化対策及び未 普及解消事業	施設の 管理・運 営	施設の劣化状況を適切に把握し、中長期的な視点を踏まえ、リスクとコストのバランスを考慮しながら最適な下水道の管きょ・施設の再構築や再整備を行い、老朽化対策を進めるとともに、脱炭素化に向けた取組を推進します。また、未普及地域の解消に向けた取組を推進します。	●老朽化した下水管きょの再整備の推進については、管きょ再整備重点地域として位置付けた入江崎処理区及び加瀬処理区の一部において約4.6km実施するとともに、汚泥圧送管の老朽化対策を約0.7km実施。(管きょ再整備率(管きょ再整備重点地域) 目標:37.7% 実績37.7%) ●水処理センター・ポンプ場の設備更新や再構築の推進については、江川ポンプ場の設備更新を推進したほか、入江崎総合スラッジセンター、渡田ポンプ場、大師河原ポンプ場において施設の再構築を推進。 ●アセットマネジメントの運用については、アセットマネジメント情報システムにより、下水道施設の維持管理情報等の蓄積・分析を行い、施設の健全度予測やリスク評価に基づく施設の修繕及び改築を実施するなど、取組を推進。 ●温室効果ガス削減の推進については、入江崎総合スラッジセンター1系焼却炉の再構築の推進や、加瀬水処理センターにおいて、再構築に併せた省エネ機器の導入を実施。川崎市環境配慮電力入札実施要綱に基づく電力購入の結果、電力会社における温室効果ガスの基礎排出係数が高い状況であり、温室効果ガス排出量が多くなったため、目標を下回った。今後、省エネ機器の導入や創エネなど温室効果ガス削減に向けた取組を進める。(温室効果ガス排出量の削減割合(2013年度比) 目標:-24.2% 実績:-21.6%) ●未普及地域解消の推進については、登戸地区で下水管きょの整備を推進。(下水道処理人口普及率 目標:99.5% 実績:99.5%)	9,107,811	8,393,967	3	P27
11	40101030	上下水道分野における 国際展開推進事業	その他	水関連企業の海外展開支援や上下水道分野の技術協力等を通じて、世界の水環境改善への貢献に向けた国際展開を推進します。	●かわさき水ビジネスネットワーク会員向けセミナーの開催 ●海外展開スキームへの応募の取組等を実施 ●ラオスでのJICA技術協力プロジェクトやインドネシア・マカッサル市及びバンドン市での技術支援等において、職員派遣を17件実施 ●研修生・視察者の受入れ等を22件実施(国際展開活動件数 目標:100件 実績:109件)	38,077	17,023	3	P38

主な事務事業の評価結果一覧の見方

令和5年度の主な事務事業の評価結果一覧は、各局が所管する事務事業のうち、「政策体系別計画に記載のある事務事業」及び「施策を推進する経常的な事務事業の中でも特に重要なものや進捗に遅れのあるもの」を取りまとめ、個別に進捗状況をお示ししたものです。

一覧の見方は次のとおりです。

令和5年度の主な事務事業の評価結果一覧(総務企画局)

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の 達成度	参考資料 掲載頁	
						予算額	決算額 (見込)			
1	10101070	本庁舎等運営事業	その他	本庁舎等について災害対策活動の 中枢拠点としての耐震性を確保す るため、建替えの取組を進めます。	●令和5年10月に新しい本庁舎の供用を開 始(令和4年度に完成予定だったところ、新型 コロナウイルス感染拡大の影響により遅れた もの) ●第2庁舎解体・跡地広場整備工事の推進	2,882,496	22,190,598	4	P●●	①「政策体系別計画に記載 のある事務事業」及び「施策 を推進する経常的な事務事 業の中でも特に重要なもの や進捗に遅れのあるもの」を掲 載
2	40205010	地域情報化推進事業	その他	市民生活の更なる利便性の向上や 地域経済の活性化を図るため、かわ さきWi-Fiの運用を行うとともに、地域 情報の効果的な発信を図ります。公 共データを市民サービスやビジネス につなげるため、オープンデータの 公開を進め、その効果的な活用を 推進します。	●かわさきWi-Fiの新たな導入、及び出張 所へのアクセスポイントの増設 ●川崎市LINE公式アカウントとかわさきデ ザリを活用した情報発信(川崎市LINE公式ア カウント登録者数:目標50,000人、実績 49,896人) ●「イベントアプリ」のサービス提供(民間事 業者登録数:目標400団体、実績392団体) ●更なるオープンデータの公開(公開デー タセット数:目標404件、実績404件)(公開デー タの月平均ダウンロード数:目標6,500件、実 績6,917件) ●他の自治体等とのマイナンバーによる情報 連携の安定的かつ円滑な運用 ●区役所・支所へのマイナポイント支援窓口 の設置及び健康保険証利用の登録作業の実 施(マイナポイント申込等の支援件数:実績 44,645件) ●「川崎市デジタル・トランスフォーメーシ ョン(DX)推進プラン」に基づく取組の進捗管理 の実施及びプログラムの改定 ●ワークスタイル変革に向けたテレワークの 更なる推進や本庁舎建替えに伴う無線LAN 環境の整備、市庁舎のスマートフォンの 実施及びRPA等の活用による業務プロセス 改革を推進(AIやRPAを導入した業務の件数 (累計):実績50件) ●NPO法人と連携したスマホ教室等の実施 (実施回数:28回)	25,113	28,725	3	P●●	②市民サービス等の分類を 記載 ※分類区分 ○施設の管理・運営 ○補助・助成金 ○イベント等 ○表彰・顕彰・認定 ○参加・協働の場 ○公聴及び相談・苦情申し立 ての聴取等 ○許可可等 ○出版物等 ○その他
3	40205020	行政情報化推進事業	その他	「川崎市デジタル・トランスフォー メーション(DX)推進プラン」に基づ き情報関連施策の進捗管理を進め るとともに、マイナンバー制度の効 率的・効果的な運用を図ります。	●「川崎市デジタル・トランスフォーメーシ ョン(DX)推進プラン」に基づく取組の進捗管理 の実施及びプログラムの改定 ●ワークスタイル変革に向けたテレワークの 更なる推進や本庁舎建替えに伴う無線LAN 環境の整備、市庁舎のスマートフォンの 実施及びRPA等の活用による業務プロセス 改革を推進(AIやRPAを導入した業務の件数 (累計):実績50件) ●NPO法人と連携したスマホ教室等の実施 (実施回数:28回)	289,816	225,987	3	P●●	③事務事業の概要を記載
4	40205030	デジタル化推進事業	その他	スマートフォンなどから24時間申請 が可能な電子申請システムの構築・ 運用や、市民ニーズが高い施設・窓 口等でのキャッシュレス決済の導入 を推進するなど、デジタル技術を活 かして利便性の高い行政サービスを 提供します。	●電子申請システム「オンライン手続かわ さき(e-KAWASAKI)」の安定的な運用(電子申 請システムの利用件数:目標500,000件、実 績519,451件) ●国の環境整備等による、オンライン化に課 題のある手続のオンライン化の実施(オンラ イン申請が可能な手続数:実績2,734手続) ●キャッシュレス決済可能な窓口等の拡大に よる利便性の向上(施設・窓口数:目標54、 実績62、決済比率:目標20%、実績14.6%)	81,844	65,635	3	P●●	④令和5年度に実施した主な 取組の実績を定量的な数字 を含めて記載
5	40901005	市制100周年記念事業	参加・協 働の場	本市が、令和6(2024)年に市制施 行100周年を迎えることから、本市の さまざまな魅力、ポテンシャルを市 内外にアピールする機会と捉え、各種 事業や情報発信等を展開します。	●オール川崎市の推進体制である実行委員 会の運営(参画団体数:383団体) ●市制100周年に向けたPRの実施 市内主要駅におけるシティレッシング、PR動 画や広報冊子の作成等 ●市制100周年記念イベントの実施 「Colors,FutureSummit2023」、「みんなの川 崎祭」等	166,965	170,962	2	P●●	⑤令和5年度の予算額及び 決算額(見込)を記載
6	40901010	シティプロモーション 推進事業	その他	戦略的な情報発信等により、市民の シビックプライドの醸成及び対外的 な都市イメージの向上を図ります。	●PR事業者の活用、メディアミックスによる魅 力発信 ●X、Instagramや動画等を活用した情報発 信 ●民間企業等との連携によるプロモーション の推進 ●「かわさきスペシャルサポーター」事業 SNSによる情報発信、広報誌出演、コラボ事 業の実施 ●ブランドメッセージの理念であり川崎の価 値である「多様性」をより多くの市民に共感 をもって受け止めてもらうための、川崎ゆかりの 著名人が詠んだ「5・7・5作品」を収録したデジ タル絵本の公開と、川崎への思いを広く市民 から募集する市民参加型企画「かわさきいろ いろ5・7・5」の実施及び入賞作品を収録した デジタル絵本の公開	45,543	44,704	4	P●●	⑥事務事業の達成度を記載 ※達成状況区分 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った
7	40901020	国際交流推進事業	イベント 等	海外からの視察受入れや(公財)国 際交流協会との連携により、行政だ けでなく市民による国際交流を推進 します。	●川崎市長をはじめとした訪問団が韓国・富 川市を訪問し、富川世界B-boy大会開幕式・ 大会視察その他市内施設視察を実施 ●ウーロンゴン市との交流について、川崎 ジュニア文化賞実行委員会と連携し、大賞受 賞者と、ウーロンゴン市副市長とのオンライン 交流会を実施 ●ラテンアメリカ及びカリブ海諸国グループ所 属の大使等が川崎港を訪問し、川崎市長との 意見交換及び川崎港・川崎マリエン視察を実 施	36,886	26,106	3	P●●	⑦参考資料における当該事 務事業の評価シートの掲載 ページを記載